

新事務所の開設にあたって



黒川 芳朝(かたつむり21会長)

今年の夏は、ことのほか厳しい暑さが続きましたが、皆さんお変わりありませんか？

8月のSGサマーキャンプも熱中症を心配しながらの実施でしたが、事故もなく無事に終えることができました。

ただ、キャンパーの参加が少なく、本会からは松木、清石、私の3名のみが裏方で参加しました。

ところで正式なご報告が遅くなりましたが、本会及びSGの事務所を移転しました。

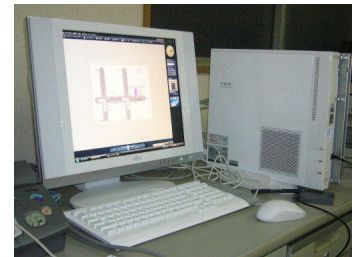
場所は、下図の通りです。地下鉄堺筋線、同鶴見緑地線の「長堀駅」から徒歩2分、御堂筋線の「心斎橋駅」からでも、地下街（クリスタ長堀）を經由して10分という非常に便利なところです。

SGキャンプの準備と重なりましたが、何とか6月中旬から床のカーペットの敷設や物品棚の設営等と平行して引っ越し作業を行い、7月にはようやく事務所らしくなりました。

事務所のスペースは、40㎡とこれまでの約半分の大きさです。心配したキャンプ物品等や40年間の様々な資料類の収納も何とかクリアし、ミーティング用スペースもこれまでの事務所とほぼ同じ程度の広さが確保できましたので、機能的には十分です。

また、この機会にパソコンを最新モデルのものに入れ替えました。

新事務所に未だお越しになっていない皆さん！是非一度足を運んで下さい。なお、残念ながら常駐者はおりませんので、事前に事務局長までご連絡下さい。



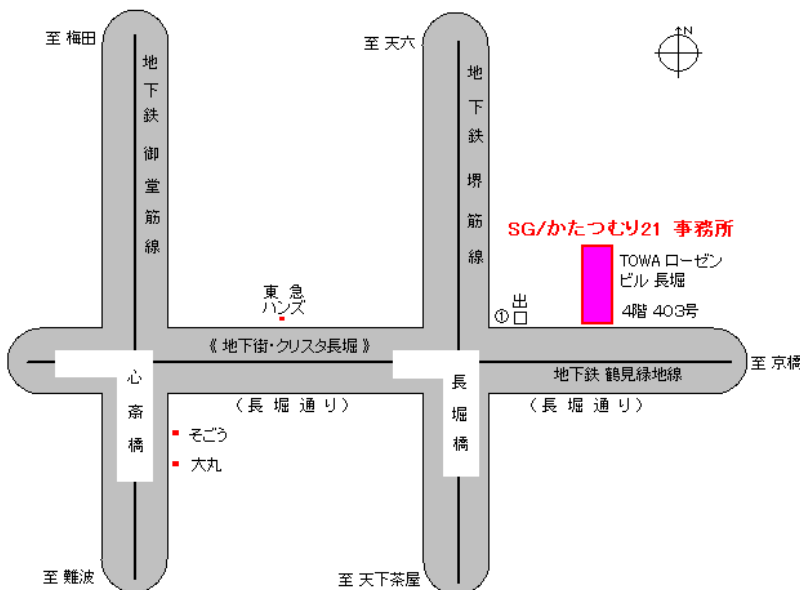
新たに導入したパソコン

SG後援会「かたつむり21」

会長：黒川 芳朝 事務局長：松木 彰造

事務局 Mail：qmdtj092@ybb.ne.jp

SG/かたつむり21事務所



所在地：

〒 542-0081
大阪府中央区南船場1-10-12
TOWAローゼンビル長堀403

交通手段：

地下鉄堺筋線・鶴見緑地線「長堀橋駅」
下車 1番出口から東へ徒歩2分

電話・FAX：

06-6264-1919

2006年 SGサマーキャンプ 実施報告

白川 華子 (プログラム・ディレクター)



こんにちは。今年のPDの「華(はな)ちゃん」こと白川華子です。今年の参加者は、子供6人(女子2人、男子4人)、リーダー21人(部分参加含む)と少人数でした。場所は、和歌山県龍神村の『丹生ヤマセミの郷』という初めてのキャンプ場。しかも暑さ全開!不安材料はたくさんありましたが、初参加の子供が4人もいて、すごく新鮮なキャンプでした♪ 皆さん、本当にありがとうございました!

主なプログラムは、ナイトハイキング(初日)や水着に着替えての川遊び(2日目)、キャンプ・ファイアーなど。竹の棒に生地を塗りながら、火の上でくるくる回すバームクーヘン作りにもみんなで挑戦しました。焼き担当はプロパティさん。暑い中、みんなの努力の甲斐あってすごく上手に焼き上がりました。

3日目は、朝一で美人の湯と言われている温泉にも入りました。貸し切りにしてもらったので、ゆっくりぬくもって、キャンプの疲れも癒えました(´o`)。この間の食事は、衣川シェフ指導による豪華メニュー(ハンバーグやスープ、サラダ)、流しそうめん、バーベキューなど、どれもおいしかった!らしい…?。

少人数のスタッフでみんな大変だったけど、事故やケガもなく、子供たちにとっても楽しんでもらえて、いいキャンプじゃなかったかな~と思います☆



しんどかった!

西村 友里(食堂)



人生初のボランティア活動。キャンプと聞いていたので楽しいものだと思っていましたが、考えが甘かった。ワークキャンプにも参加させてもらったんですが、あんな緩い感じの雰囲気かと思いきやまったく暖かくなく、どちらかと言うとピリピリとした雰囲気だったような…。自分の考えが甘かったせいと暑かったせいかもしれませんが、ボランティア活動とはこんなにもしんどいものなのか!とちょっとり参加した事を後悔することがあったりなんかもあった三日間でした。

しんどいと思う事が多かったですが、それよりも子供たちがご飯を食べて美味しいと笑顔で言ってくれるのを

見たら、来て良かったなあと思う事の方が多かったです。

あまりお役に立っていたか解りませんが、少しでも人の役に立てる事がこんなに嬉しいとは正直思いませんでした。このキャンプで今までしたことのない経験をさせてもらったので、本当に参加して良かったです。来年もまた参加したいと思います。

びっくりの連続

平 将典(かみせら)



私は毎日とても暇で暇でしょうがない生活をしていました。

そんなときに、サービスグループのキャンプに誘ってもらいました。最初は、軽い気持ちで“単なるキャンプ”くらいにしか考えてなかったので、参

加してみてびっくりすることの連続でした。

カウンセラーということで、子どもたちに直接接する役割だったのですが、介助経験のまったくない私には、車椅子を押したり、トイレで介助したり初めて経験することばかりでした。

そんな中、子ども達との交流を通じて、今まで“自分にはできないことと避けていた障害をもつ人との交流も、自分がその気になったらできるし、楽しいものだということを知りました。

確かにキャンプはすごく疲れました。それでも、終わったときの達成感は、何ものにも替えられないものとなりました。今回出会った子どもたちと、不慣れな私に優しく接して下さったスタッフの皆さんに心から感謝します。どうもありがとうございました。また、来年もよろしくをお願いします。

会員紹介①

そろそろ子連れでキャンプにも…



黒岩 克美

皆さんこんにちは！かれこれ25年ほど前、学生時代にサービスグループで3年ほど活動していました黒岩（旧姓：世良）です。

社会人になってからは殆ど参加できず、かたつむり21に入会させて頂いてからも総会やオータムキャンプなどはいつも欠席で、まさに名ばかりの会員でした。

現在は、高槻市にあるリハビリテーション専門病院でソーシャルワーカーをしており、患者さんやご家族の方々の様々な相談相手になっています。

子どもは、上が中3の男の子（何と！大阪府の軟式野球大会で優勝）、下が小3の女の子の二人で、子育てに余力が掛からなくなってきました。

これまで毎回、広報誌を楽しく読ませて頂いて、みなさんの活動を遠くから応援していましたが、この春の総会にどうい訳か出席したところ、いつの間にか広報の役目を頂戴しておりました。

恐るべし！かたつむり21…(^_^;) 怠け者で面倒臭がり、書くことが大の苦手な私ですが、このグループの雰囲気は大好きなので、少しでもお役に立ちたいと思います。

また、下の子は活発で人と関わることに物怖じしないタイプなので、本人が行きたいと言えば、そろそろ子連れでキャンプに参加したいと考えています。今後ともどうぞよろしくをお願いします。サービスグループそしてかたつむり21 バンザイ！

会員紹介②

キャンプ大好き人間です



原田 敬文

はじめまして、こんにちは。このたび皆様の仲間に入れていただきました原田敬文（はらだたかふみ）です。

キャンプや野外活動が大好きで、年間20本くらいのキャンプを企画したり参加したりしています。

中学生のときに、地元の子ども会のキャンプにボランティアリーダーとしてかかわってから、野外活動にはまりました。その後、オーストラリアで福祉や教育を学び、野外活動を通じた福祉のあり方を学び感銘を受けました。

欧米の国々では、病院や福祉施設などでも積極的に野外活動を取り入れています。現在では、企業研修や青少年の更生施設でも実践されています。

このオーストラリアでのボランティア経験がきっかけになり、カウンセリングマインドを活かしたキャンプに携わろうと考えました。日本に帰国後、新聞社の厚生文化事業団や社会福祉施設で障害をもった方々とのキャンプなどに取り組んできました。本当に出会いって素敵なものだなあと思っています。

自然の中で仲間と語り合うことが大好きです。今回のオータムキャンプも楽しみにしています。これからもよろしくをお願いします。

新事務所開設にあたってお世話になりました

今回のSG/かたつむり21の新しい事務所を開設するにあたって、下記の方々から金銭や物品等の寄付を頂くなど、多くの皆さんのお世話になりました。

特に、交通至便な事務所の建物を破格の条件で提供して頂いた匿名氏さまに心から感謝申し上げます。

また、岩藤さんからは多額の寄付を頂戴し、事務所の設営ばかりでなく、新たなパソコンの購入等にも充当することができましたことを特記させていただきます。

SG後援会「かたつむり21」役員一同

- ★社会福祉法人大阪婦人ホーム
- ★岩藤雅紀・和代
- ★杉田隆博・文子
- ★黒川芳朝・か代子
- ★松木彰造
- ★小西加保留
- ★原口和博
- ★杉野雅子
- ★清石和子
- ★伊東久実子

(順不同・敬称略)



新事務所での役員会の様子

2007 能勢 Autumn Camp のお知らせ

今年も恒例の「能勢オータムキャンプ」の季節がやってきました。詳細は別刷りの「案内」をご覧ください。

今回のテーマは名付けで能勢の秋！みよう、さわろう、ひたりきろう”。野外活動キャンプの原点に戻って能勢の秋を満喫しようという試みです。と言っても、“教育は人づくり、私は若づくり”“出過ぎた杭は打たれない”などユーモアたっぷり軽妙な語り口でお馴染みの善野八千子教授がキャンプ長、かたつむり21の新会員ながらもキャンプの鉄人・原田さんがPDというコンビですから、破天荒な展開の予感が…。どなたでも参加できるキャンプです。お知り合いの方も誘って、大勢参加して下さい。

昨年の感想文から～

今回は雨という天候の中ででした。女子の泊まった棟の部屋の電気が付かないなど色々なハプニングもありましたが、おいしい食事や屋根の下でのファイアー、中でも、世代を乗り越してみんなで二日間楽しんだ「暮」は本当に面白かったです。あんなにはまって熱中するとは思いませんでした。

夜も更けて、床につく人もいれば、お酒を片手に、夜な夜な色んな話をしたり、みんなのそんな姿を見ながら、十数年後、同じように同じ場所でこんな風に笑ってほしいなあと思いました…。

下は小学生から、幅広い人たちが一緒に楽しめたこのオータムキャンプに、また今年も参加したいと思います。

(阿部 真子 = アベマコ)

- ・と き：平成19年11月17～18日
- ・ところ：能勢ダイヘンキャンプ場(大阪府能勢町倉垣)
- ・参加費：社会人3,500円 学生以下無料

【主なスタッフ】

- ・スーパーバイザー／黒川 芳朝
- ・オータムキャンプ実行委員長／松木 彰造
- ・キャンプ長／善野 八千子
- ・プログラムディレクター／原田 敬文
- ・プロパティチーフ／岡村 安敏
- ・BM／杉野 雅子
- ・食堂チーフ／清石 和子
- ・フード・コーディネーター／西山 進見
- ・リカー・コーディネーター／原口 和博
- ・保健衛生委員／林 純子

関空車椅子マラソンに参加しました！

松木 彰造(かたつむり21事務局長)

8月2日の関西国際空港第2滑走路オープンに先立ち、一般の方々から広く参加を募り、滑走路を使って2km～10kmのマラソンが5月13日(日)に行われました。

全体としては、8,000名以上の参加があったそうで、車イス部門には約100組250名の障害児・者が参加しました。

通所施設「ゆず」(所長：笠尾知恵子さん<元肢体不自由児を育てる会々長>)の仲間たち(障害者7名、職員及び保護者総勢16名)も参加し、車に分乗して関空へ。

午前10時、一斉にスタート。私はS君と一緒に2kmマラソンに出場した。大きな空・広い空港島・長い滑走路、その長さは4km・御堂筋と同じ距離だ。当日は曇り空、周りは海、少し風がきつかった。

スタート当初は、周りの景観を楽しみながらゆっくりと車椅子を押していたが、全力疾走している人もいて、刺激されてふと気がつくとも私も全力で走っていた。

日頃運動をあまりしないので、2kmマラソンは結構きつかった。ゴール前には、名カメラマン黒川さんが「ゆ

ず」の仲間たちのゴールの瞬間をカメラに収めていた。

日頃、単調な日々を過ごす彼らにとって外出のイベントは大きな楽しみのようなのだが、果たして、関空車椅子マラソンを「ゆず」の仲間たちは楽しんでくれたかな…。



編集後記

厳しい暑さの中、事務所の移転・SGの夏のキャンプと慌ただしく過ぎた今年の夏も、やっと一段落。

皆さんと一緒に「私たちの会が出来ること」を一つずつ模索していく広報誌でありたいと願っています。なつかし声、新しい風、どんどん吹き込んで下さい。

念願かなった新事務所から初めてお届けする号号は、実りの秋に相応しく話題も大盛りです。気持ちも新たに、子どもたちや社会・SGのニーズに沿いながら「また次の一歩」を。

(伊東 久実子)